

特別支援教育通信

2020.9.3

Vol.5

特別支援教育 Co.

ビジョン・トレーニングって??



ビジョン・トレーニングとは、簡単に言うと「見る力を高める訓練」です。もともとは、アメリカ空軍に所属するパイロットのための訓練でした。しかし、見る力を高めることで、運動能力が向上するなどの研究成果があり、スポーツ界でも取り込まれるようになりました。そして、特別支援教育においてはSLD（限局性学習症）のある子どもたちの識字能力が向上したとの研究もあり、広く取り込まれるようになってきました。

見る力の簡単チェック！このような様子を見たことはありませんか？

○教科書の字や行を飛ばして読んでしまう。どこを読んでいるか分からなくなる。

→目を自由に、スムーズに動かすことが苦手かもしれません。

☆**追従性眼球運動**にチャレンジ！

○黒板を写すのに時間がかかる。運動の中で球技が特に苦手。

→視点を切り替えるように、パッパッと目を動かすことが苦手かもしれません。

☆**跳躍性眼球運動**にチャレンジ！

○漢字が覚えられない。図形の問題が苦手、方向の認識が弱い。

→形を見分けたり、覚えておいたりすることが苦手かもしれません。

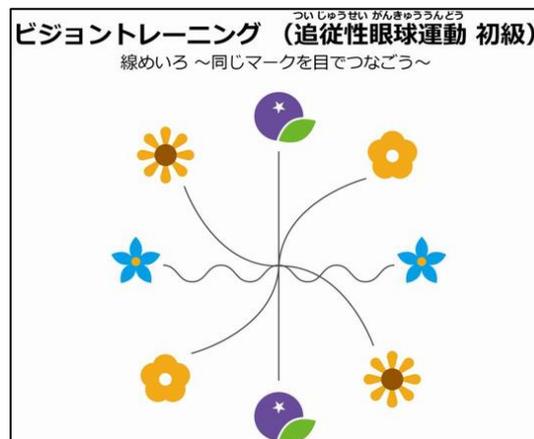
☆**視空間認知**やボディーイメージのトレーニングにチャレンジ！

(北出勝也(2009)より)

簡単にできるトレーニング！！

○追従性眼球運動

この力を高めるために、点と点を結ぶという課題が効果的です。よく取り組まれているのが、次のような迷路です。児童の実態に合わせて難易度を上げていくことで、飽きずに取り組むことができます。



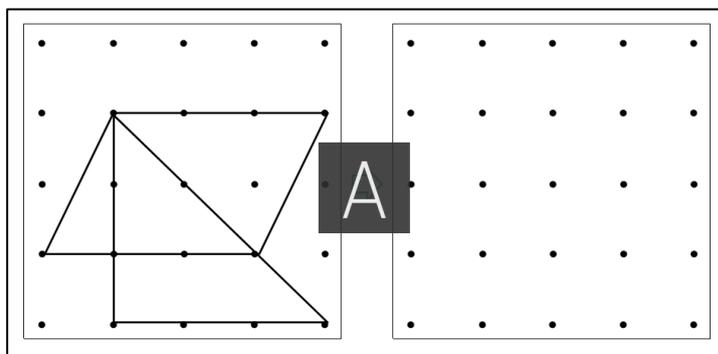
○跳躍性眼球運動

次の図のような課題が特別支援学校のみならず、通級指導教室等でも取り組まれています。また、数字を黒板にランダムに書き、消していくように、ゲーム性をもたせたものになると、楽しみながら活動できます。



○視知覚認知

この力を高めるためには、次の図のような点つなぎやテングラム（形あわせ）の課題が効果的です。



これらのトレーニングは、週に1日1時間というように設定するのではなく、1日5分を継続する方が、効果が上がります。そして、何よりも楽しく取り組むことがより良い学習につながります♪

【参考資料】

- ・北出勝也（2009）.学ぶことが大好きになるビジョン・トレーニング.図書文化社
- ・石田亮子・田中靖（2010）.発達障害のある児童生徒の特性に応じた支援の在り方-読み書き等のつまづきに対する「見る力」を高めるトレーニングの活用を通して-.平成 22 年度 佐賀県教育センター個別実践研究 小・中学校特別支援教育研究委員会
- ・メノコト HP. <https://menokoto365.jp/289/>（2020年4月閲覧）
- ・サッカーCLEW HP. <https://golazo-web.com/>（2020年4月閲覧）